

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第82期第3四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社ハマイ

【英訳名】 HAMAI INDUSTRIES LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浜 井 三 郎

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田五丁目22番13号

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部部長 志 村 孝 男

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田五丁目22番13号

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部部長 志 村 孝 男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第82期 第3四半期 連結累計期間 |
|--------------------------|------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日 |
| 売上高 | (千円) | 4,861,779 |
| 経常利益 | (千円) | 632,969 |
| 四半期純利益 | (千円) | 382,843 |
| 四半期包括利益 | (千円) | 664,815 |
| 純資産額 | (千円) | 11,572,986 |
| 総資産額 | (千円) | 14,902,163 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 53.46 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額 | (円) | |
| 自己資本比率 | (%) | 77.7 |

| 回次 | | 第82期 第3四半期 連結会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 15.84 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の経営指標等については記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（バルブ事業）

当社は、韓国市場における当社の製品の積極的拡販、新規需要開拓及び顧客ニーズへの対応力強化を図るため、株式会社ハマイ코리아を新規設立しております。

なお、新規設立した株式会社ハマイ코리아を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりません。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社グループは当社、子会社1社、関連会社3社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、「アベノミクス」に象徴される金融緩和・財政出動による成長戦略に対する期待感により、円高是正・株高が進み、緩やかに回復してまいりました。しかし円安による原材料や輸入燃料価格の上昇等、景気の先行きは今だ不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社の主力製品であるLPG容器用バルブ部門に加え、配管用バルブ部門及び高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門を含め、全体的に需要が改善されず、その結果、売上高は48億6千1百万円、営業利益は4億3千万円、経常利益は6億3千2百万円、四半期純利益は3億8千2百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔バルブ事業〕

当社の主力製品であるLPG容器用バルブ部門は売上高20億5千9百万円、配管用バルブ部門は売上高10億7千4百万円、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は売上高8億7千万円、その他売上高5億3百万円、合計売上高は45億7百万円となり、また営業利益は1億8千4百万円となりました。

〔不動産賃貸事業〕

賃貸収入は3億5千3百万円、営業利益は2億4千6百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、74億9千7百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金39億3千9百万円と売上債権（受取手形・売掛金）20億9千8百万円です。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、74億4百万円となりました。その主な内訳は、建物を含む有形固定資産合計28億8千万円と投資有価証券35億2千1百万円です。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、18億5千6百万円となりました。その主な内訳は、仕入債務（支払手形・買掛金）13億6千3百万円です。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、14億7千2百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金3億8千2百万円と長期預り保証金5億3百万円です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、115億7千2百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金105億5千2百万円です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億7千3百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 11,518,000 |
| 計 | 11,518,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 7,424,140 | 7,424,140 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 (注) |
| 計 | 7,424,140 | 7,424,140 | | |

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年 月 日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金 増減額 (千円) | 資本金 残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------------------------|------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日 | | 7,424 | | 395,307 | | 648,247 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 155,600 | | |
| | (相互保有株式) 普通株式 7,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,256,000 | 72,560 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 5,540 | | |
| 発行済株式総数 | 7,424,140 | | |
| 総株主の議決権 | | 72,560 | |

- (注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式90株が含まれております。
2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権50個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ハマイ | 東京都品川区西五反田 五丁目22番13号 | 155,600 | | 155,600 | 2.09 |
| (相互保有株式) 四国ハマイ株式会社 | 香川県高松市国分寺町 福家甲2466番地11 | 7,000 | | 7,000 | 0.09 |
| 計 | | 162,600 | | 162,600 | 2.19 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、比較情報は記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、信成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成25年9月30日)

| 資産の部 | |
|---------------|------------------------|
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 3,939,871 |
| 受取手形 | ¹ 1,005,842 |
| 売掛金 | ¹ 1,092,720 |
| 有価証券 | 292,325 |
| 商品 | 1,327 |
| 製品 | 419,291 |
| 原材料 | 71,454 |
| 仕掛品 | 540,720 |
| 貯蔵品 | 35,084 |
| 前渡金 | 9,749 |
| 繰延税金資産 | 58,492 |
| 短期貸付金 | 26,132 |
| その他 | 9,209 |
| 貸倒引当金 | 4,966 |
| 流動資産合計 | 7,497,255 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物（純額） | 1,584,739 |
| 構築物（純額） | 46,305 |
| 機械及び装置（純額） | 639,321 |
| 車両運搬具（純額） | 14,431 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 39,881 |
| 土地 | 309,245 |
| リース資産 | 20,928 |
| 建設仮勘定 | 226,107 |
| 有形固定資産合計 | 2,880,961 |
| 無形固定資産 | |
| ソフトウェア | 2,761 |
| 電話加入権 | 2,412 |
| リース資産 | 10,499 |
| 借地権 | 360 |
| 無形固定資産合計 | 16,033 |
| 投資その他の資産 | |
| 投資有価証券 | 3,521,824 |
| 関係会社株式 | 7,817 |
| 長期貸付金 | 150,250 |
| 長期前払費用 | 28,530 |
| 会員権 | 22,503 |
| 保険積立金 | 511,450 |
| 繰延税金資産 | 128,474 |
| その他 | 138,952 |
| 貸倒引当金 | 1,890 |
| 投資その他の資産合計 | 4,507,913 |
| 固定資産合計 | 7,404,908 |

資産合計

14,902,163

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成25年9月30日)

| 負債の部 | |
|---------------|------------|
| 流動負債 | |
| 支払手形 | 1,077,603 |
| 買掛金 | 286,274 |
| 未払金 | 40,087 |
| 未払法人税等 | 54,760 |
| 未払消費税等 | 6,313 |
| 未払費用 | 34,122 |
| 前受金 | 37,602 |
| 預り金 | 6,987 |
| リース債務 | 13,477 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 153,184 |
| 賞与引当金 | 111,300 |
| 設備関係支払手形 | 35,007 |
| 流動負債合計 | 1,856,721 |
| 固定負債 | |
| 長期借入金 | 382,961 |
| 退職給付引当金 | 349,733 |
| 役員退職慰労引当金 | 216,957 |
| 長期預り保証金 | 503,028 |
| リース債務 | 19,775 |
| 固定負債合計 | 1,472,456 |
| 負債合計 | 3,329,177 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 395,307 |
| 資本剰余金 | 648,247 |
| 利益剰余金 | 10,552,334 |
| 自己株式 | 351,737 |
| 株主資本合計 | 11,244,152 |
| その他の包括利益累計額 | |
| その他有価証券評価差額金 | 321,808 |
| 為替換算調整勘定 | 7,025 |
| その他の包括利益累計額合計 | 328,833 |
| 純資産合計 | 11,572,986 |
| 負債純資産合計 | 14,902,163 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | |
| 製品売上高 | 4,004,853 |
| 商品売上高 | 40,776 |
| 加工屑売上高 | 462,299 |
| 商品及び製品売上高合計 | 4,507,928 |
| 不動産賃貸収入 | 353,851 |
| 売上高合計 | 4,861,779 |
| 売上原価 | ¹ 3,786,880 |
| 売上総利益 | 1,074,899 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 運賃 | 51,282 |
| 役員報酬 | 79,844 |
| 給料 | 146,960 |
| 賞与 | 19,782 |
| 賞与引当金繰入額 | 28,938 |
| 退職給付費用 | 14,702 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 12,850 |
| 減価償却費 | 10,141 |
| その他 | 279,498 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 644,001 |
| 営業利益 | 430,898 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 29,258 |
| 受取配当金 | 42,314 |
| 投資有価証券評価損戻入益 | 77,463 |
| 貸倒引当金戻入額 | 4,157 |
| 為替差益 | 25,656 |
| 雑収入 | 5,694 |
| 有価証券売却益 | 37,834 |
| 営業外収益合計 | 222,377 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 9,105 |
| 開発費償却 | 8,258 |
| 売上割引 | 2,601 |
| 雑損失 | 340 |
| 営業外費用合計 | 20,305 |
| 経常利益 | 632,969 |

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成25年1月1日
至平成25年9月30日)

| | |
|-----------------|--------------------|
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 101 |
| 事業税還付金 | 900 |
| 特別利益合計 | 1,001 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | ² 179 |
| 固定資産除却損 | ³ 2,926 |
| 特別損失合計 | 3,106 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 630,865 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 267,939 |
| 法人税等調整額 | 19,917 |
| 法人税等合計 | 248,022 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 382,843 |
| 四半期純利益 | 382,843 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 382,843 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 274,946 |
| 為替換算調整勘定 | 7,025 |
| その他の包括利益合計 | 281,971 |
| 四半期包括利益 | 664,815 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 664,815 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - |

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| |
|--|
| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日) |
| (連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ハマイコアを連結の範囲に含めております。 |

【会計方針の変更等】

| |
|---|
| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日) |
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。 |

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 関係会社に係る注記

区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている関係会社に対する主なものは次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|------|------------------------------|
| 受取手形 | 69,018千円 |
| 売掛金 | 34,426千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 当期総製造費用に含まれる賞与引当金繰入額および退職給付費用は次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|----------|---|
| 賞与引当金繰入額 | 82,362千円 |
| 退職給付費用 | 51,624 |

2 固定資産売却損の内訳は次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|-------|---|
| 車輛運搬具 | 179千円 |

3 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------|---|
| 建物 | 2,406千円 |
| 機械及び装置 | 44 |
| 車両運搬具 | 138 |
| 工具、器具及び備品 | 337 |
| 計 | 2,926 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間
(自平成25年1月1日
至平成25年9月30日)

減価償却費 218,946千円

(株主資本等関係)

1. 配当金支払額

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成25年3月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 109,026 | 15 | 平成24年12月31日 | 平成25年3月29日 | 利益剰余金 |
| 平成25年8月9日 取締役会 | 普通株式 | 72,684 | 10 | 平成25年6月30日 | 平成25年9月9日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年9月18日の開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、平成25年9月19日付で自己株式213,200株(取得価額174,824千円)を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が351,737千円(368,917株)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|
| | パルプ事業 | 不動産賃貸事業 | 合計 |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,507,928 | 353,851 | 4,861,779 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | |
| 計 | 4,507,928 | 353,851 | 4,861,779 |
| セグメント利益 | 184,203 | 246,694 | 430,898 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの損益に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) |
|---------------------|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 53円46銭 |
| (算定上の基礎) | |
| 四半期純利益金額(千円) | 382,843 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 382,843 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,161,836 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第82期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）中間配当については、平成25年8月9日開催の取締役会において、平成25年6月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおりの中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 72,684千円

1株当たりの金額 10円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ハマイ
取締役会 御中

信成監査法人

業務執行社員 公認会計士 山 口 隆 印

業務執行社員 公認会計士 松 林 伸 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマイの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマイ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。